



平成28年10月号



# 概況

最近の県内経済は、個人消費の一部に弱さがみられるものの持ち直し傾向は継続している。

まず個人消費関連では、百貨店・スーパー販売は6ヶ月連続のマイナスとなった。自動車販売は、登録車、届出車合計で4ヶ月連続のマイナスとなった。

住宅建設は、持家と貸家が増加し7ヶ月連続のプラスとなった。公共投資は、国、県、市町村が大きく減少し、2ヶ月連続のマイナスとなった。

生産関連では、鉱工業生産指数(季節調整値)は前月比9.6%上昇の117.9と、2ヶ月連続で上昇した。27年県産リンゴ販売は、県外市場販売額が前年比6.2%の減少となった。八戸港の水揚げは、数量が減少、金額は増加した。

雇用情勢は、有効求人倍率が前月比横ばいの1.10倍と、昭和38年の集計開始以来の過去最高値が継続した。

<b>個人消費</b>	8月の <b>百貨店・スーパー販売額</b> (速報ベース、店舗調整後)は前年同月比3.5%減と6ヶ月連続のマイナスとなった。百貨店が同8.0%減、スーパーが同2.4%減となった。 8月の <b>自動車販売台数</b> は登録車、届出車(軽自動車)合計が前年同月比3.2%減の3,463台と4ヶ月連続のマイナスとなった。登録車が同1.0%減と2ヶ月連続のマイナス、届出車は同5.9%減と12ヶ月連続のマイナスとなった。
<b>住宅投資</b>	8月の <b>新設住宅着工戸数</b> は前年同月比18.3%増と7ヶ月連続のプラスとなった。持家が同22.6%増、貸家が同16.5%増、分譲住宅が同33.3%減となった。
<b>公共投資</b>	8月の <b>公共工事請負額</b> は、全体で前年同月比27.3%減の127億7,400万円と2ヶ月連続のマイナスとなった。独立行政法人等が同88.8%増となったものの、国は同50.2%減、県は同14.2%減、市町村は同30.7%減となった。
<b>一次産業</b>	農林水産省東北農政局の調査によると、 <b>28年産水稻の作柄</b> (9月15日現在)における登熟は、南部・下北地帯が「良」、青森地帯、津軽地帯がともに「やや良」と見込まれる。 <b>27年県産リンゴ販売</b> は、8月の県外出荷量が前年同月比6.0%増、消費地市場価格が同12.4%低下となり、県外市場販売額は同6.2%減となった。 8月の <b>八戸港水揚げ</b> は、数量が前年同月比27.1%減、金額は同41.8%増となった。
<b>生産活動</b>	7月の <b>鉱工業生産指数</b> (季節調整値)は、業務用機械、パルプ・紙、食料品、鉄鋼などが上昇し、前月比9.6%上昇の117.9と2ヶ月連続で上昇した。原指数では電子部品・デバイス、食料品、パルプ・紙が上昇し、前年同月比5.8%上昇の117.3と2ヶ月連続で前年同月を上回った。

# 一次産業

## 米

28年産米、作況指数は「103」

農林水産省東北農政局の調査によると、青森県の平成28年産水稻の県平均作柄（9月15日現在）は、10aあたりの予想収量が586kg、作況指数は「103」と見込まれており、予想収量、作況指数ともに東北平均を上回っている。平年と比べると、穂数が「やや多い」、1穂当たりもみ数が「やや少ない」、全もみ数が「平年並み」、登熟が「やや良」と見込まれている。

作柄表示地帯別にみると、登熟は南部・下北地帯が「良」、青森地帯、津軽地帯がともに「やや良」と見込まれている。10aあたりの予想収量と作況指数をみると、青森地帯は565kgの「102」、津軽地帯が607kgの「103」、南部・下北地帯が547kgの「104」と、いずれも平年を上回る作柄が見込まれている。

### ● 28年産水稻の作柄概況（9月15日現在）

作柄表示地帯	10a当たり (kg)		作況指数	穂数の多少	1穂当たりもみ数の多少	全もみ数の多少	登熟の良否
	予想収量	平年収量					
<b>青森県平均</b>	<b>586</b>	<b>569</b>	<b>103</b>	<b>やや多い</b>	<b>やや少ない</b>	<b>平年並み</b>	<b>やや良</b>
青森地帯	565	552	102	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良
津軽地帯	607	591	103	やや多い	やや少ない	平年並み	やや良
南部・下北地帯	547	527	104	平年並み	やや少ない	やや少ない	良
<b>東北平均</b>	<b>557</b>	<b>544</b>	<b>102</b>	<b>平年並み</b>	<b>平年並み</b>	<b>平年並み</b>	<b>やや良</b>

資料出所：東北農政局

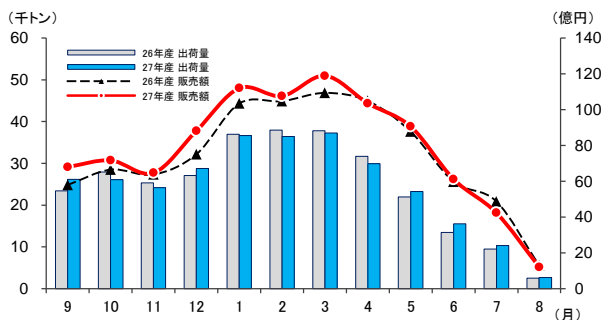
## りんご

27年産累計、県外市場販売額、前年比5.2%増

27年県産りんご販売、8月の県外出荷量は前年同月比6.0%増の2,639トンとなった。これは前3ヶ年の8月平均出荷量を18.7%下回る水準である。消費地市場価格は全種平均で、前年同月比12.4%低下、前3ヶ年比較で同0.4%低下の458円/kgとなった。その結果、県外市場販売額は前年同月比6.2%減、前3ヶ年比較で同15.3%減の12億300万円となった。

27年産県産りんご販売は、消費地市場価格が、消費地市場へのお荷量が平年に比べてやや多かったものの、品質・食味ともに良好であり、競合果実のお荷量が少なかったことなどから高値基調で推移し、累計では前年比3.1%上昇の329円/kgと過去10年で2番目の高値となった。県外出荷量は累計で前年比0.7%増の29万8,255トン、県外市場販売額は同5.2%増の943億5,500万円となった。

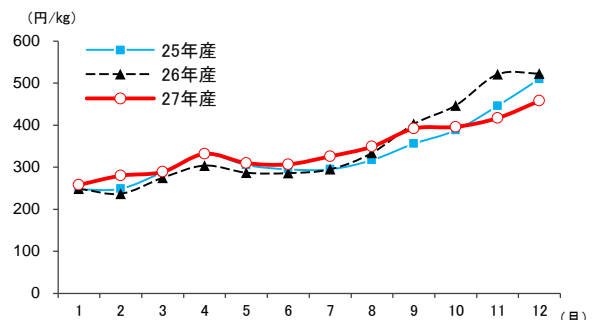
### ● リンゴ販売 県外市場販売動向



資料出所：県りんご果樹課

(注) 出荷量：生食用(県外市場、輸出、小口他)  
販売額：小口、加工向けを除く販売額

### ● 消費地市場価格の推移（全種平均）



資料出所：県りんご果樹課

# 一次産業

## 海面漁業

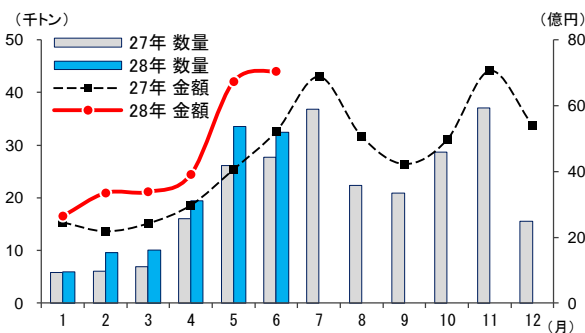
6月の海面漁業、漁獲数量、漁獲金額とも大幅増加

注)海面漁業については、7月以降のデータが未更新のため、6月実績を再掲します。

6月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比17.0%増の3万2,438トン、漁獲金額が同35.0%増の70億4,509万円となった。これは前年同月に比べ、ホタテガイ(半成貝、成貝)等の漁獲数量が増加したことによる。

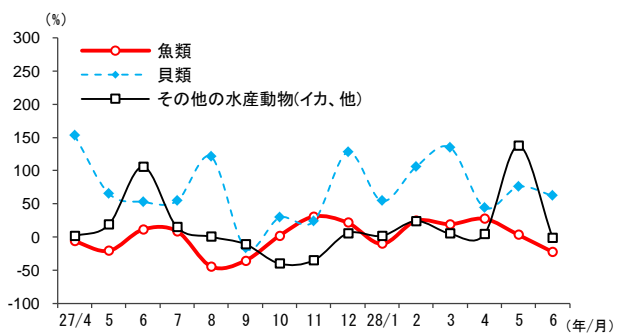
魚種別にみると、「魚類」は、サバの大幅増加がみられ、数量が前年同月比14.9%増の4,207トンとなったものの、金額は同22.6%減の8億5,322万円となった。「貝類」はホタテガイ(半成貝、成貝)の水揚げが大幅に増加し、数量が同21.5%増の2万6,668トン、金額は同62.2%増の55億5,596万円となった。「その他の水産動物」はスルメイカ(海外)が大幅に減少し、数量が同14.9%減の1,460トンとなり、金額は同1.0%減の6億972万円となった。

### ● 海面漁業 漁獲数量と金額



資料出所:青森県農林水産部

### ● 魚種別漁獲金額 (前年同月比増加率)



資料出所:青森県農林水産部

## 八戸港水揚げ

8月水揚げ、数量27.1%減、金額41.8%増

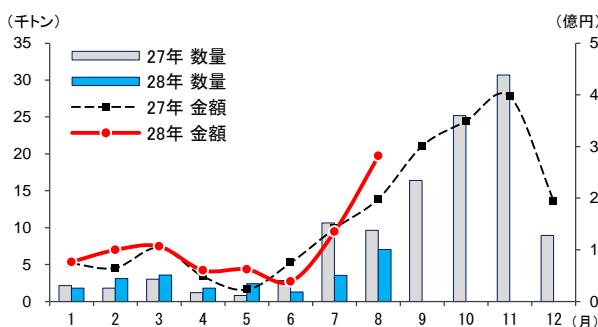
8月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比27.1%減の7,034トン、金額は同41.8%増の28億1,541万円と、数量が減少したものの金額は大幅に増加した。

イカ釣り漁は、数量が前年同月比12.1%減の2,680トン、金額は同36.4%増の14億1,392万円と数量が減少したものの、品薄による高値相場から金額は前年を大幅に上回った。近海生スルメイカ漁や船凍スルメイカ漁が前年を上回った一方、船凍アカイカ漁の水揚げが7月に早まり全体数量は減少した。

大中型旋網漁は、台風による天候不順が響き、数量が前年同月比36.9%減の3,818トンとなったものの、高値相場から金額は同62.7%増の12億2,700万円となった。

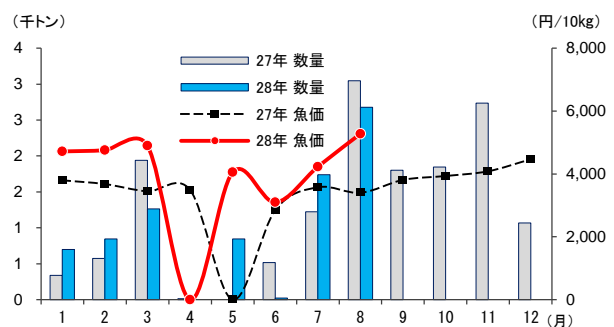
機船底引き網漁は、中型船が休漁期で水揚げがなく、大型船の水揚げがあったものの、数量が前年同月比2.0%減の149トン、金額は同7.3%減の4,153万円と数量、金額ともに前年を下回った。

### ● 八戸港水揚げ高



資料出所:八戸市水産事務所

### ● イカの水揚げ数量と魚価



資料出所:八戸市水産事務所 (注)平成27年5月、平成28年4月は水揚げ実績なし

# 二次産業

## 鉱工業生産

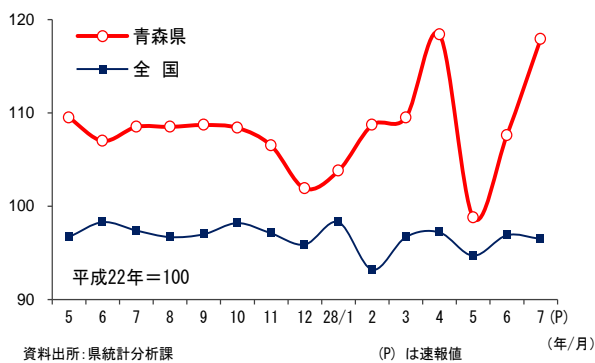
前月比9.6%上昇、2ヶ月連続の上昇

7月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、平成22年=100)は前月比9.6%上昇の117.9と2ヶ月連続で上昇した。

主要6業種をみると、電気機械が前月比6.3%、電子部品・デバイスが同1.8%低下したものの、業務用機械が同5.5%、パルプ・紙が同3.1%、食料品が同0.8%、鉄鋼が同0.7%それぞれ上昇した。

原指数で前年同月と比較すると、電気機械、鉄鋼、業務用機械が低下したものの、電子部品・デバイス、食料品、パルプ・紙が上昇し、前年同月比5.8%上昇の117.3と2ヶ月連続で前年同月を上回った。

### ● 鉱工業生産指数



### ● 業種別生産指数 (平成28年7月)

業種 ( )内は一万分比ウェイト	季節調整済指数		原指数	
	平成22年=100	前月比 (%)	平成22年=100	前年同月 (%)
鉱工業 (10,000.0)	117.9	9.6	117.3	5.8
食料品 (2,410.0)	108.4	0.8	104.4	1.7
鉄鋼 (1,200.9)	101.2	0.7	97.1	△ 13.0
電子部品・デバイス (1,048.2)	152.6	△ 1.8	168.0	2.1
業務用機械 (1,005.1)	105.0	5.5	110.2	△ 0.2
パルプ・紙 (722.3)	92.8	3.1	97.9	1.7
電気機械 (429.2)	97.0	△ 6.3	101.8	△ 22.3

資料出所: 県統計分析課

## 投資財生産指数

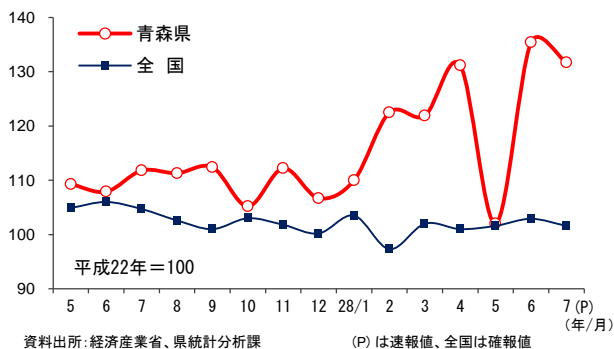
前月比2.7%低下、再び低下

7月の投資財生産指数(季節調整済速報値、全国は確報値、平成22年=100)は前月比2.7%低下の131.7と再び前月を下回った。

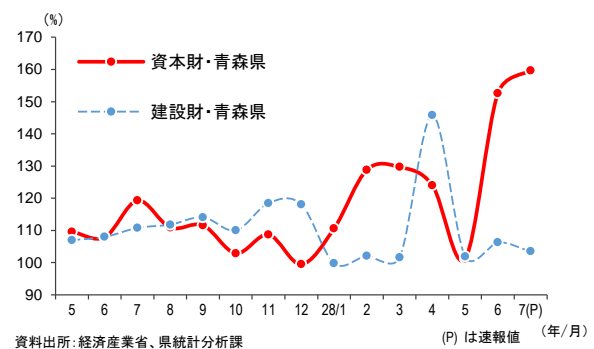
さらに投資財生産指数を資本財、建設財の各指数に細分化してみると、資本財生産指数が前月比4.7%上昇の159.7、建設財生産指数は同2.6%低下の103.5となった。

当月の投資財生産指数の低下は、建設財生産指数の低下によるものである。

### ● 投資財生産指数



### ● 資本財、建設財別指数 (増加率)



# 二次産業

## 公共工事

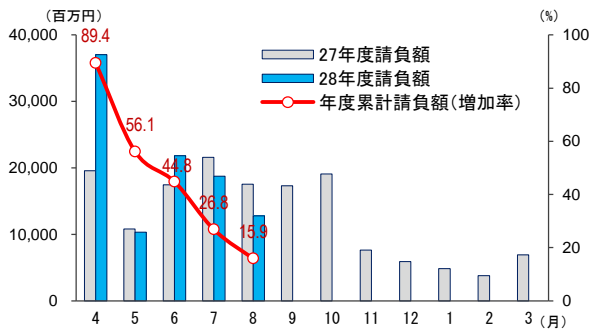
前年同月比 27.3%減、2ヶ月連続のマイナス

8月の東日本建設業保証(株)の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比 27.3%減の 127 億 7,400 万円となり、2ヶ月連続のマイナスとなった。

当月の請負額は、国が、防衛省で増加したものの、国土交通省、農林水産省で大幅に減少し同 50.2%減の 15 億 8,300 万円となった。独立行政法人等は国立大学法人などが増加し同 88.8%増の 3,400 万円となった。県は、農林水産部などが大幅に増加したものの、県土整備部が大幅に減少し同 14.2%減の 52 億 5,200 万円となった。市町村は、同 30.7%減と大幅に減少し 52 億 5,400 万円となった。

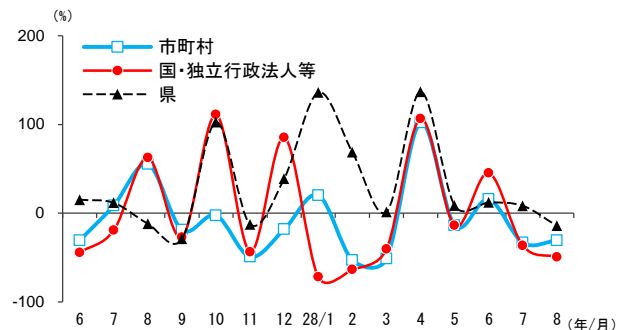
当月は、独立行政法人等が増加したものの、国、県、市町村が大幅に減少し、全体では前年実績を3割近く下回った。

### ● 公共工事請負額



資料出所: 東日本建設業保証(株)

### ● 発注主体別・月別請負額の推移(前年同月比増加率)



資料出所: 東日本建設業保証(株)

## 住宅着工

前年同月比 18.3%増、7ヶ月連続のプラス

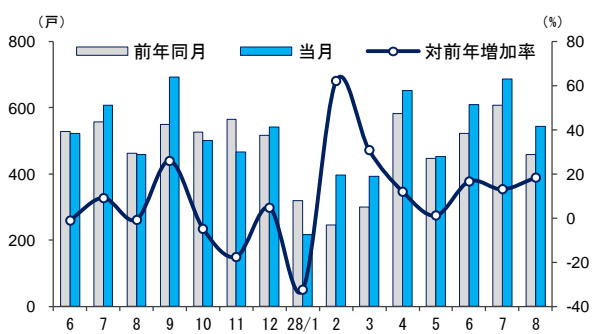
8月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比 18.3%増の 543 戸と7ヶ月連続のプラスとなった。利用関係別では、持家が同 22.6%増、貸家が同 16.5%増、分譲住宅が同 33.3%減となった。

地域別にみると、全体では、青森市、弘前市、黒石市、むつ市、つがる市、平川市で減少したものの、八戸市、五所川原市、十和田市、三沢市、郡部で増加した。

持家は、青森市、むつ市などで減少したものの、八戸市、十和田市、三沢市などで増加した。貸家は、黒石市、むつ市などで減少したものの、十和田市、三沢市、八戸市などで増加した。

県内の新設住宅着工は、このところ貸家の大幅な伸びが目立っており、全体に好調に推移している。

### ● 新設住宅着工戸数



資料出所: 県建築住宅課

### ● 利用関係別戸数

	28年 8月	27年 8月	前年 同月比
持家	363	296	22.6
貸家	155	133	16.5
給与住宅	5	0	-
分譲住宅	20	30	△ 33.3
総戸数	543	459	18.3

資料出所: 県建築住宅課

# 三次産業

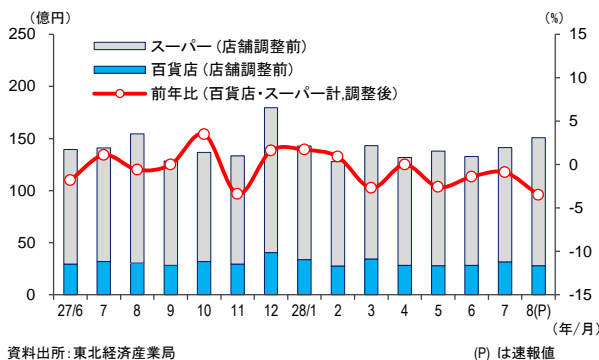
## 百貨店・スーパー販売

前年同月比 3.5%減、6ヶ月連続マイナス

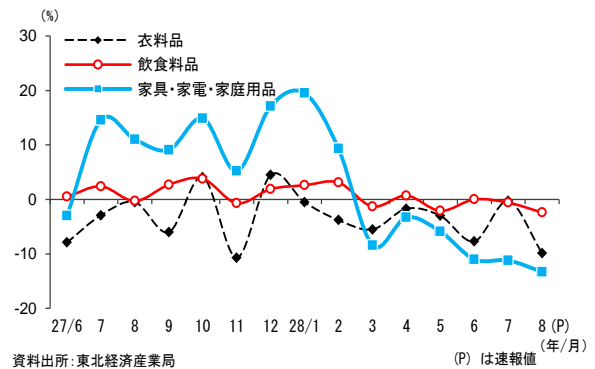
8月の県内百貨店・スーパー販売額(速報ベース、店舗調整後)は、前年同月比 3.5%減と6ヶ月連続のマイナスとなった。業態別では百貨店が同 8.0%減、スーパーが同 2.4%減となった。

品目別では、衣料品が同 9.9%減、ウエートの高い飲食料品が同 2.4%減、家具・家電・家庭用品が同 13.3%減となった。衣料品は夏物セールが盛り上がり欠きを、秋物商品も鈍い動きで婦人服、紳士服とも前年を1割程下回った。飲食料品は、前年を幾分下回った。家具・家電・家庭用品は、家具が、新築需要が伸び悩んだほか、購入単価の低下傾向がみられた。家電製品は、エアコンが好調だったものの、冷蔵庫や洗濯機などが苦戦した。家庭用品は引き続き低調だった。

### ● 百貨店・スーパー販売動向



### ● 品目別売上高(店舗調整済、増加率)



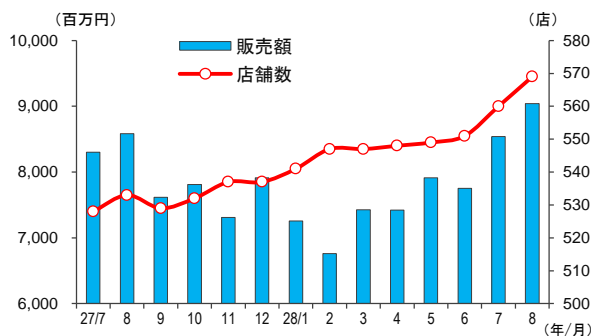
## 各種小売業態販売額

コンビニエンスストア販売額、前年同月比 5.3%増

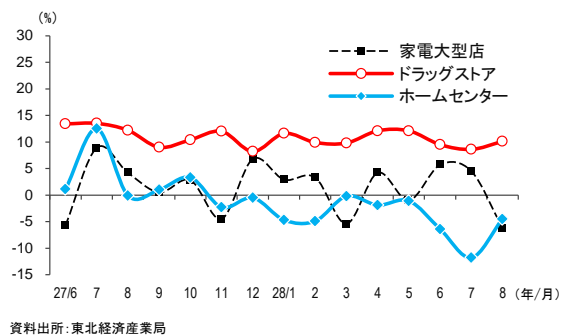
8月のコンビニエンスストア販売額(確報値、全店ベース)は、前年同月比 5.3%増の90億4,000万円となった。店舗数は、前年同月比 6.8%増の569店となった。

また、各種小売業態販売動向(全店ベース、増加率)をみると、家電大型専門店は前年同月比 6.2%減、ドラッグストアは同 10.1%増、ホームセンターは同 4.5%減となった。

### ● コンビニエンスストアの販売動向と店舗数



### ● 各種小売業態販売動向(全店ベース、増加率)



# 三次産業

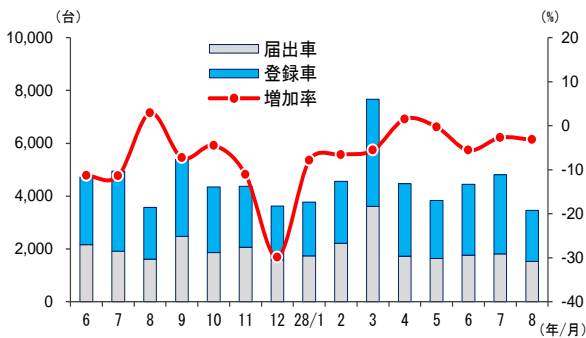
## 自動車販売

前年同月比 3.2%減、4ヶ月連続のマイナス

8月の自動車販売台数は、登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比 3.2%減の 3,463 台と 4ヶ月連続のマイナスとなった。内訳別にみると、登録車は、普通乗用車が同 17.6%増、貨物車が同 14.8%増となったものの、小型乗用車は同 17.0%減となり、登録車合計では同 1.0%減の 1,939 台と 2ヶ月連続のマイナスとなった。届出車は貨物車が同 17.7%減、乗用車が同 1.1%減となり、届出車合計では同 5.9%減の 1,524 台と 12ヶ月連続のマイナスとなった。

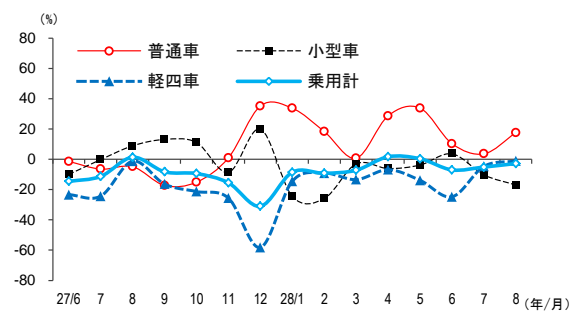
乗用車新車登録・届出合計の販売台数は、同 2.8%減の 2,690 台と 3ヶ月連続のマイナスとなった。

### 自動車販売動向



資料出所：日本自動車販売協会連合会青森県支部

### 乗用車販売動向（増加率）



資料出所：日本自動車販売協会連合会青森県支部

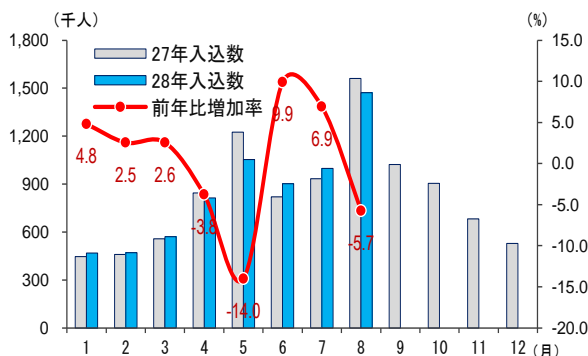
## 観光動向

前年同月比 入込数 5.7%減、宿泊者数 2.0%増

8月の県内の観光動向は、県内 34 施設の入込数が前年同月比 5.7%減の 147 万 1,190 人となった。施設別入込数は、八食センターが同 3.4%減の 43 万 8,888 人、アスパムが同 1.3%増の 19 万 8,982 人、浅虫水族館が同 4.5%減の 5 万 7,232 人、石ヶ戸休憩所が 5.6%減の 5 万 3,437 人、弘前市立観光館が同 11.5%減の 5 万 976 人などとなった。

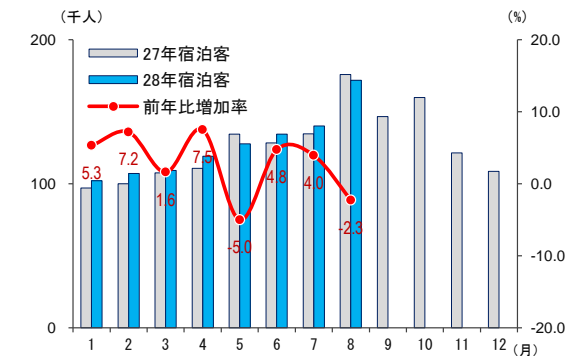
また県内 53 施設（6月以前は 54 施設）の宿泊者数は、前年同月比 2.0%増の 17 万 1,831 人となった。青森市（12 施設）は、同 0.6%減の 4 万 4,735 人、弘前市（17 施設）は、同 4.6%増の 6 万 3,837 人、八戸市（19 施設）は同 1.9%増の 4 万 8,865 人、むつ市（6 施設）は同 0.9%減の 1 万 4,394 人となった。

### 県内 34 施設入込数



資料出所：県観光国際戦略局観光企画課

### 県内 54 施設宿泊者数



資料出所：県観光国際戦略局観光企画課 ※7月以降は53施設



# 物価・雇用・金融

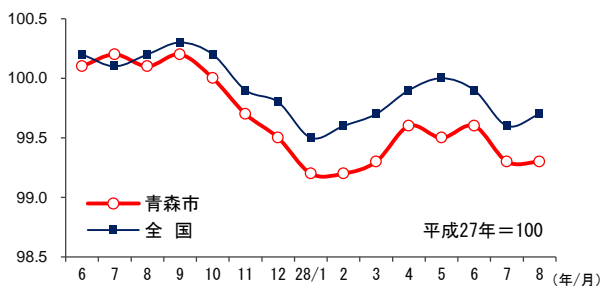
## 消費者物価指数

前月比横ばい、前年同月比 0.8%低下の 99.3

8月の青森市の消費者物価指数(平成22年=100)は前月比横ばい、前年同月比0.8%低下の99.3となった。主要費目別に前月と比べると、「食料」が生鮮魚介などの値上がりにより0.9%上昇した一方、「被服及び履物」がシャツ・セーター・下着類などの値下がりにより2.1%低下した。前年同月との比較では、「被服及び履物」(4.3%)、「教育」(1.6%)、「食料」(1.5%)などが上昇した一方、「光熱・水道」(△8.5%)と「交通・通信」(△4.8%)などが下落した。

なお「生鮮食品を除く総合指数」は99.3となり、前月比0.1%、前年同月比0.8%、それぞれ下落した。

### ● 消費者物価指数



資料出所: 県統計分析課

### ● 費目別指数の動き(平成28年8月)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	99.3	0.0	△ 0.8
食料	101.7	0.9	1.5
住居	100.5	0.0	0.5
光熱・水道	90.8	△ 0.7	△ 8.5
家具・家事用品	97.3	△ 1.9	△ 1.3
被服及び履物	99.3	△ 2.1	4.3
保健医療	100.8	△ 0.3	0.5
交通・通信	97.1	△ 0.3	△ 4.8
教育	102.0	0.0	1.6
教養娯楽	102.1	0.4	0.8
諸雑費	101.4	0.3	1.4

資料出所: 県統計分析課

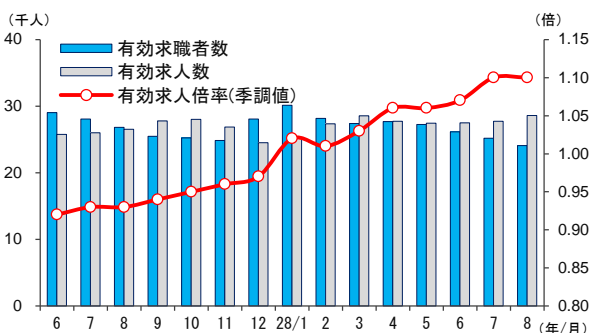
## 雇用動向

有効求人倍率、過去最高の 1.10 倍継続、8ヶ月連続 1 倍超え

8月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比7.8%増の2万8,608人、有効求職者数は同10.2%減の2万4,102人となった。新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比3.6%増、臨時・季節求人数が同9.9%減、パート求人数が同14.0%増となり、全数では同5.8%増の1万808人となった。主要産業別の新規求人動向を前年同月比でみると、医療・福祉、建設業、学術研究、専門・技術サービス業などで減少したものの、卸売・小売業、宿泊業、飲食サービス業、運輸業、郵便業、製造業、情報通信業などで増加した。

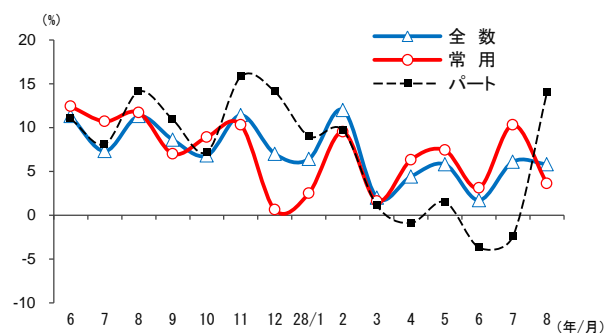
県内の雇用状況は、有効求人倍率が、7月の1.10倍と同値となり、1963年の集計開始以来の最高値が前月に続き継続した。8ヶ月連続の1倍超えであり県内の雇用環境は改善が続いている。

### ● 有効求人倍率



資料出所: 青森労働局

### ● 新規求人数の増加率



資料出所: 青森労働局

# 物価・雇用・金融

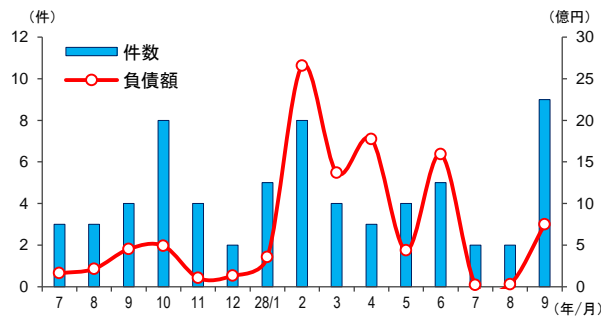
## 企業倒産

前年同月比、倒産件数 5 件増、負債総額 2 億 9,500 万円増

9月の県内企業倒産は、件数が前年同月比で5件増の9件、負債総額は同2億9,500万円増の7億4,800万円となり、件数、負債総額ともに再び前年を上回った。前月比では件数が7件増、負債総額は7億1,800万円増となった。業種別では、サービス業他が3件、製造業が2件、小売業が2件、建設業が1件、不動産業が1件となった。地域別では、青森市3件、南津軽郡2件、八戸市、弘前市、むつ市、上北郡にて各1件の発生となった。原因別では、販売不振が5件、放漫経営、過小資本、他社倒産の余波、既往のシワ寄せが各1件となった。

県内の企業倒産件数は、引き続き一桁台となったものの、前年同月比で5件の増加、前月比で7件の増加となった。負債総額は、前年及び前月を大幅に上回った。なお、当月の従業員被害者は30名であり、1月からの年間累計で192名となった。

### ● 企業倒産状況



資料出所: 東京商工リサーチ (注) 負債総額1千万円以上

### ● 業種別・原因別件数 (平成 28 年 8 月)

業種	件数	原因	件数
一次産業・鉱業		放漫経営	1
建設業	1	過小資本	1
製造業	2	他社倒産の余波	1
卸売業		既往のシワ寄せ	1
小売業	2	信用低下	
金融・保険業		販売不振	5
不動産業	1	売掛金回収難	
運輸業		在庫状況悪化	
情報通信業		設備投資過大	
サービス業 他	3	その他	
合計	9	合計	9

資料出所: 東京商工リサーチ (負債総額1千万円以上)

## 金融動向

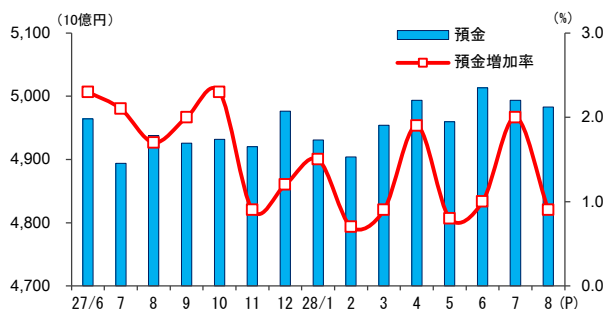
預金、貸出金とも 40 ヶ月連続のプラス

8月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高(速報値)は、実質預金が前年同月比0.9%増の4兆9,828億円、貸出金は同3.6%増の2兆8,672億円とそれぞれ増加した。

預金は法人預金を中心に前年を上回った。預金全体のプラス幅は前月比1.1ポイント減少したものの、40ヶ月連続のプラスとなった。

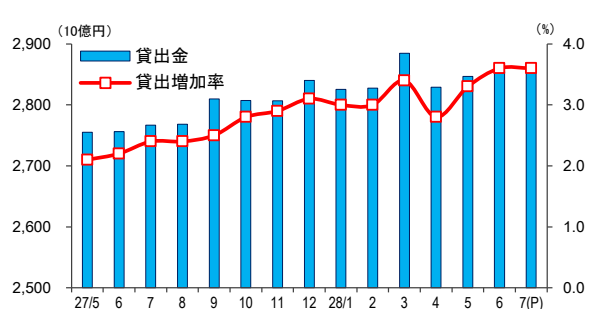
一方、貸出金は法人、個人、地公体向けが、いずれも増加し前年を上回った。貸出金全体のプラス幅は前月比横ばいながら、40ヶ月連続のプラスとなった。

### ● 預金の推移



資料出所: 日本銀行青森支店 (P) は速報値

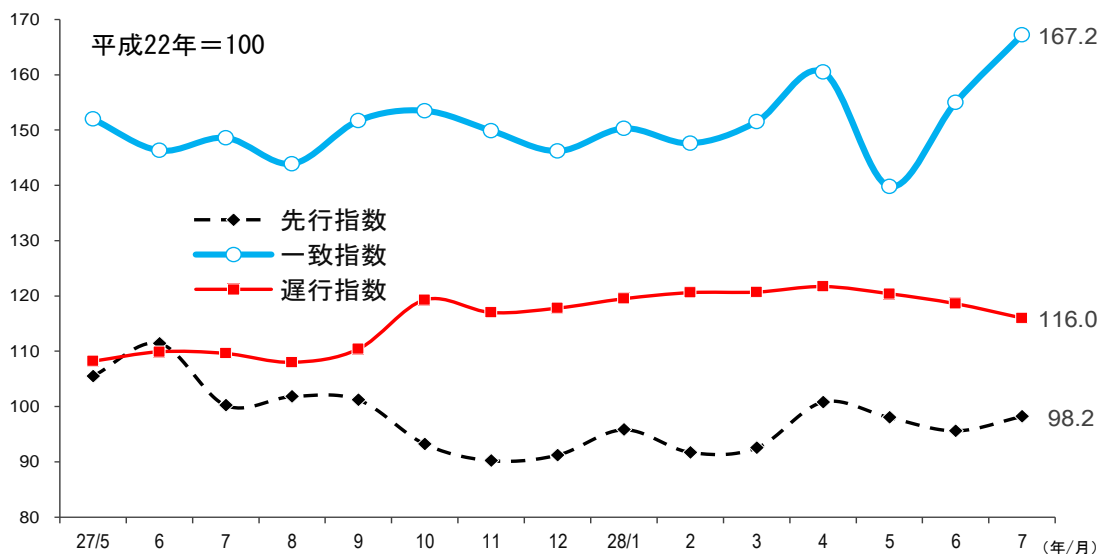
### ● 貸出金の推移



資料出所: 日本銀行青森支店 (P) は速報値

# 青森県景気動向指数

## ● 青森県景気動向指数（CI）の推移



資料出所：県統計分析課

(注)平成28年1月分から採用系列見直し

## ● 一致指数 採用系列の寄与度

上段：寄与度がプラスを○、マイナスを●で表示  
下段：寄与度

採用系列名	28年 2月	3月	4月	5月	6月	7月
1. 百貨店・スーパー販売額(既存店)	● △ 0.43	● △ 1.87	○ 1.31	● △ 1.34	○ 0.52	○ 0.22
2. 旅行取扱高	● △ 3.16	○ 2.44	○ 0.98	● △ 3.31	○ 2.30	○ 2.06
3. 鉱工業生産指数	○ 2.12	○ 0.23	○ 3.68	● △ 5.88	○ 3.88	○ 4.50
4. 投資財生産指数	○ 2.12	● △ 0.09	○ 1.52	● △ 4.96	○ 5.48	● △ 0.58
5. 有効求人倍率(全数)	● △ 2.95	○ 1.60	○ 3.20	● △ 1.72	● △ 0.12	○ 3.32
6. 輸入通関実績(八戸港)	● △ 0.61	● △ 1.58	○ 0.18	● △ 1.14	● △ 0.05	○ 1.36
7. 所定外労働時間指数(全産業)	○ 0.27	○ 3.10	● △ 1.83	● △ 2.32	○ 3.12	○ 1.34

資料出所：県統計分析課

※景気動向指数(CI: Composite Index)とは

1. 前月と比較した採用系列の変化量を合成し、基準年度を100として指数化したもので、景気に敏感な指標の量的な動きを合成した指標である。CIには次の3指数がある。

先行指数……景気に先行して動くことから景気の動きの予測に利用

一致指数……景気とほぼ一致して動くことから景気の現状把握に利用

遅行指数……景気に遅れて動くことから事後的な確認に利用

2. CIは景気変動の大きさ(景気の山の高さや谷の深さ)やテンポ(景気の拡張や後退の勢い)を測定する。CIが上昇している時は景気の拡張期(好況)であり、低下している時は景気の後退期(不況)である。

# 国内景気

## 概況

国内景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が継続。個人消費は総じてみれば底堅い動きとなっている。設備投資は持ち直しの動きに足踏みがみられる。住宅建設は持ち直している。輸出はおおむね横ばい。生産は横ばい。企業収益は高い水準だが、改善に足踏みがみられる。企業の業況判断は慎重さがみられる。雇用情勢は改善している。消費者物価は、横ばい。

## 百貨店・スーパーの動向（既存店ベース）

### —前年同月比 3.6%減、再びマイナス—

8月の百貨店・スーパー販売額は前年同月比 3.6%減と再びマイナスとなった。業態別にみると、百貨店が同 6.0%減、スーパーは同 2.6%減となった。商品別にみると、衣料品が同 9.1%減、飲食料品は同 1.8%減、その他商品は同 3.8%減となった。

## 住宅建設

### —前年同月比 2.5%増、2ヶ月連続のプラス—

8月の新設住宅着工戸数は、前年同月比 2.5%増の 8万 2,242戸と2ヶ月連続のプラスとなった。利用関係別では、持家が同 4.3%増と7ヶ月連続の増加、貸家が同 9.9%増と10ヶ月連続の増加、分譲住宅が同 12.7%減と再びマイナスとなった。

## 企業倒産

### —倒産件数、6ヶ月ぶりに前年同月を上回る—

8月の企業倒産は、件数が前年同月比 14.9%増の 726件、負債総額は同 28.8%増の 1,260億円。倒産件数は6ヶ月ぶりに増加、負債総額は2ヶ月連続で増加となった。8月としては件数が20年間で前年同月に次いで2番目に少なかった。負債総額は、小規模な倒産が目立った。

## 為替動向

### —9月末終値 100円 89銭—

9月の東京外国為替市場は前月末から続落 103円台半ばでスタート。上旬は米国の低調な経済指標発表を受け、9月の利上げ観測が後退 101円台まで円高が進んだ。中旬は米国での早期利上げ観測が引き続き後退したことから円を買う動きが優勢となった。下旬は原油安、米国株安などから、100円台まで円を買う展開が広がった。月末終値は 100円 89銭。

## 鉱工業生産指数

### —前月比 1.5%上昇の 97.9—

8月の鉱工業生産指数は前月比 1.5%上昇の 97.9(季節調整値)となった。電子部品・デバイス、情報通信機械、化学(除、医薬品)等が上昇し、輸送機械、石油・石炭製品、金属製品などが低下した。9月は、はん用・生産用・業務用機械、輸送機械、化学などの上昇により前月比 2.2%上昇を予測している。

## 新車販売（除く軽自動車）

### —前年同月比 1.0%増、再びプラス—

8月の国内新車販売は前年同月比 1.0%増の 22万 3,273台と再びプラスとなった。乗用車が同 1.5%増、貨物車は同 2.4%減となった。乗用車は普通乗用車が同 9.6%増と5ヶ月連続のプラス、小型乗用車は同 6.4%減と4ヶ月連続のマイナスとなった。

## 完全失業率

### —前月比 0.1ポイント上昇の 3.1%—

8月の完全失業率は前月比 0.1ポイント上昇の 3.1%となった。完全失業者数は前年同月比 13万人減の 212万人となり、75ヶ月連続で減少した。求職理由別にみると、勤め先や事業の都合が前年同月比 6万人減の 35万人、自己都合が同 1万人減の 92万人などとなった。

## 消費者物価指数

### —前月比 0.5%下落の 99.7—

8月の全国消費者物価指数(2015年=100)は前月比横ばい、前年同月比 0.5%下落の 99.7となった。前月に比べ、教養娯楽が上昇した一方、被服及び履物、光熱・水道などが下落した。生鮮食品を除く総合指数は、前月比横ばい、前年同月比 0.5%下落の 99.6。

## 国際収支

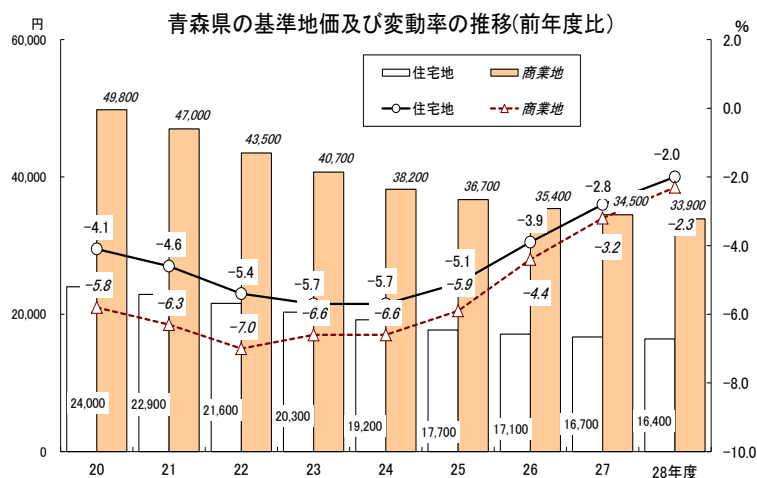
### —経常収支、26ヶ月連続で黒字—

8月の経常収支額は前年同月比 3,759億円増(23.1%増)の 2兆 8億円と 26ヶ月連続で黒字となった。貿易・サービス収支が、「貿易収支」が黒字に転化したことが寄与し、黒字に転化した。経常収支の内訳は、貿易・サービス収支が 1,907億円の黒字、第一次所得収支が 1兆 9,853億円の黒字、第二次所得収支が 1,752億円の赤字だった。

# 今月の統計

## 青森県の基準地価

青森県が発表した平成28年度地価調査(7月1日時点の基準地価)によると、青森県の平均地価は、住宅地が16,400円で前年度比▲2.0%(同0.8ポイント上昇)、商業地は33,900円で同▲2.3%(同0.9ポイント上昇)となった。また、住宅地、商業地などを合わせた全用途平均の基準地価は、前年比2.1%減の20,000円/m<sup>2</sup>だった。県内の基準地価は、住宅地が18年連続、商業地は25年連続で下落した。変動率では住宅地、商業地ともに下落幅が幾分縮小した。県内全40市町村の基準地421地点のうち、前年と比較できる411地点の変動状況は、上昇が4地点(前年比同数)、横ばいが51地点(同31増)、下落が356地点(同35減)だった。



資料：青森県「平成28年度青森県地価調査」

東北各県の基準地価変動率をみると、住宅地は福島県が前年度比1.5%、宮城県が同0.6%上昇した。一方、下落は秋田県が最大で同▲3.4%、以下、青森県が同▲2.0%、岩手県が同▲1.1%、山形県が同▲1.0%となった。商業地は宮城県が同3.4%、福島県が同0.4%上昇した。一方、下落は秋田県が最大で同▲3.8%、以下、岩手県が同▲2.5%、青森県が同▲2.3%、山形県が同▲1.6%となった。住宅地、商業地ともに宮城県と福島県が、全国平均の変動率を上回った。東京・大阪・名古屋の三大都市圏では、景気の緩やかな回復、外国人観光客の増加を反映し、住宅地が同0.4%、商業地が同2.9%上昇した。

## 東北6県、全国の基準地価変動率

	基準地価変動率 (%)					
	住宅地			商業地		
	平成27年度	平成28年度	増減	平成27年度	平成28年度	増減
青森県	▲2.8	▲2.0	0.8	▲3.2	▲2.3	0.9
岩手県	▲0.9	▲1.1	-0.2	▲2.5	▲2.5	0.0
宮城県	0.6	0.6	0.0	2.1	3.4	1.3
秋田県	▲4.0	▲3.4	0.6	▲4.6	▲3.8	0.8
山形県	▲1.3	▲1.0	0.3	▲2.0	▲1.6	0.4
福島県	2.0	1.5	-0.5	0.3	0.4	0.1
三大都市圏	0.4	0.4	0.0	2.3	2.9	0.6
全国平均	▲1.0	▲0.8	0.2	▲0.5	0.0	0.5

資料：国土交通省「平成28年度都道府県地価調査」

**用語解説** 基準地価…国土利用計画法に基づき都道府県知事が基準地を選定し、毎年7月1日現在の宅地基準地について公表する土地の基準価格。

# 県内・国内トピックス 9月

## 県内

- 6日 28年夏季賞与、5年連続で増加**  
県経営者協会が発表した今年の夏季賞与一時金(ボーナス)の最終妥結結果によると、平均妥結額は前年同月比4.1%増の35万4,365円となり、5年連続で前年を上回った。
- 9日 下北、「日本ジオパーク」認定**  
日本ジオパーク委員会は、下北5市町村などが一体で取り組む「下北ジオパーク構想」を新たに日本ジオパークに認定した。今回の認定により日本ジオパークは、箱根ジオパークなど計43地域となる。
- 12日 平成27年産リンゴ、県外市場価格329円**  
県が発表した平成27年産りんごの年間流通実績(平成27年9月～平成28年8月)によると、消費地市場価格は前年比3.1%(10円)高の329円/kgだった。
- 13日 本県の平成27年度経常収支比率95.7%**  
県が発表した平成27年度普通会計決算によると、財政構造の硬直度を示す経常収支比率は95.7%となり前年度比0.1ポイント改善した。また、地方債残高総額は前年度比410億円減の1兆2,381億円で、5年連続の減少となった。
- 20日 県内地価、全用途平均は前年比2.1%下落**  
県の発表によると、平成28年7月1日現在の住宅地、商業地などを合わせた全用途平均の基準地価は、前年比2.1%減の20,000円/㎡だった。
- 26日 北海道新幹線、開業半年の利用実績143万人**  
JR北海道は、北海道新幹線開業からの半年間(3月26日～9月25日)で新青森駅～函館北斗駅間を143万5,000人が利用したと発表した。1日平均利用者数は、在来線との前年実績比で77%増の約7,800人となった。

## 国内

- 1日 平成28年4-6月期の設備投資3.1%増**  
財務省が発表した平成28年4-6月期の法人企業統計によると、金融業、保険業を除く全産業の設備投資額は、前年同期比3.1%増の9兆3,145億円となった。うち、製造業は同11.1%増、非製造業は同1.3%減となった。
- 8日 平成28年4-6月期のGDP改定値、上方修正**  
内閣府が発表した平成28年4-6月期の国内総生産(GDP)改定値は、物価変動の影響を除いた実質で前期比0.2%増、年率換算で0.7%増となった。速報値からは、実質成長率、名目成長率ともに上方修正となった。
- 街角景気、現況判断指数2ヶ月連続改善**  
内閣府が発表した8月の景気ウオッチャー調査によると、現状判断指数は前月比0.5ポイント上昇の45.6と2ヶ月連続で改善した。また、横ばいを示す50を13カ月連続で下回った。
- 13日 平成27年度、概算医療費41.5兆円**  
厚生労働省が公表した「医療費の動向」によると、平成27年度の概算医療費は、前年度比1.5兆円増の41.5兆円と昨年度に続き40兆円を突破した。
- 16日 9月の月例報告、景気判断を据え置き**  
内閣府は9月の月例経済報告で、景気の基調判断を6ヶ月連続で「このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」と据え置いた。
- 21日 8月の貿易収支、3ヶ月ぶりの赤字**  
財務省が発表した8月の貿易統計(速報、通関ベース)によると、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は187億円の赤字となった。赤字は3カ月ぶりとなる。

# 全国の主要経済指標

年次及び月	日証券発行高 (平均残高・億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行貸出約定平均 金利 (年利%)	景気動向指数(一致) 2010年=100	国内企業物価指数 2010年=100	消費者物価指数 2015年=100	鉱工業生産指数 2010年=100	機械受注(季調済) (億円)	公共工事請負額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)							
2011(H23)	792,805	598,668	425,858	1.452	-	101.5	96.3	97.2	88,961	
2012(H24)	809,455	613,690	433,823	1.364	-	100.6	96.2	97.8	88,134	128,456
2013(H25)	835,998	640,633	449,134	1.258	-	101.9	96.6	97.0	93,232	150,536
2014(H26)	866,132	660,844	461,147	1.180	-	105.1	99.2	99.0	96,920	165,257
2015(H27)	908,485	679,106	475,937	1.110	-	102.7	100.0	97.8	100,891	149,257
2015(H27) 6	896,714	678,820	464,740	1.141	113.8	102.1	100.2	98.3	8,407	15,503
7	906,796	674,054	465,907	1.137	113.3	103.2	100.1	97.4	8,155	14,321
8	910,354	673,470	465,905	1.135	112.6	102.5	100.2	96.7	7,916	13,760
9	913,980	676,940	470,471	1.125	112.4	102.1	100.3	97.0	8,384	15,225
10	917,792	673,540	468,785	1.125	113.6	101.4	100.2	98.2	8,918	14,020
11	924,879	679,175	471,254	1.121	112.8	101.3	99.9	97.1	8,050	10,480
12	955,628	679,106	475,937	1.110	111.5	100.9	99.8	95.9	8,130	11,811
2016(H28) 1	956,932	677,992	475,000	1.108	112.3	99.9	99.5	98.3	9,347	8,547
2	944,904	687,209	473,374	1.098	110.3	99.6	99.6	93.2	8,487	10,211
3	951,906	704,814	480,044	1.076	111.1	99.5	99.7	96.7	8,951	23,359
4	956,074	713,531	475,438	1.066	112.7	99.1	99.9	97.2	7,963	7,969
5	957,942	714,947	475,966	1.054	110.3	99.2	100.0	94.7	7,850	7,412
6	951,991	715,380	478,005	1.039	112.0	99.1	99.9	96.9	8,498	14,466
7	960,075	711,968	478,318	1.033	112.1	99.1	99.6	96.5	8,919	12,706
8	962,598			1.026	P 112.0	P 98.8	99.7	P 97.9	8,725	13,674
前月比%	0.3	-0.5	0.1	-0.007% 引	-0.1ポイント	-0.3	0.0	1.5	-2.2	7.6
前年同月比%	5.7	5.6	2.7	-0.109% 引	-	-3.6	-0.5	4.6	11.6	-0.6
資料出所	日本銀行				内閣府	日本銀行	総務省	経済産業省	内閣府	国土交通省

※鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

※機械受注は、船舶・電力を除く民需、前年同月比は原指数による

年次及び月	新設住宅着工戸数 (戸)	新車登録届出台数 (乗用車) (千台)	百貨店・スーパー販売額 (億円)	企業倒産		完全失業率 (季調済) (%)	国際収支(経常) (億円)	東京外為相場 (月平均) (円/US\$)	日経平均株価 (東証1部 225銘柄) (円)	日経商品指数 (月末42種) ('70年=100)
				件数 (件)	負債総額 (億円)					
2011(H23)	834,117	3,525	195,933	12,734	35,929	4.6	104,013	79.76	8,455.35	165.195
2012(H24)	882,797	4,572	195,916	12,124	38,346	4.3	47,640	79.79	10,395.18	169.679
2013(H25)	980,025	4,562	197,774	10,855	27,823	4.0	44,566	97.71	16,291.31	188.334
2014(H26)	892,261	4,699	201,973	9,731	18,741	3.6	38,805	105.79	17,450.77	183.036
2015(H27)	909,299	4,216	200,491	8,812	21,124	3.4	164,127	121.09	19,033.71	160.852
2015(H27) 6	88,118	365	16,413	824	1,269	3.4	5,410	123.75	20,235.73	176.769
7	78,263	356	17,057	787	1,201	3.3	17,938	123.23	20,585.24	174.461
8	80,255	271	16,056	632	979	3.4	16,249	123.23	18,890.48	169.466
9	77,872	400	15,114	673	2,709	3.4	14,521	120.22	17,388.15	166.020
10	77,153	315	16,072	742	1,062	3.1	14,018	120.06	19,083.10	165.098
11	79,697	314	16,490	711	1,417	3.3	11,059	122.54	19,747.47	163.272
12	75,452	308	20,925	699	3,854	3.3	9,401	121.84	19,033.71	160.852
2016(H28) 1	67,815	329	16,913	675	1,269	3.2	5,901	118.25	17,518.30	155.948
2	72,831	382	14,886	723	1,635	3.3	23,874	115.02	16,026.76	154.942
3	75,744	532	16,463	746	1,759	3.2	29,862	113.07	16,758.67	156.095
4	82,398	269	15,456	695	1,033	3.2	18,313	109.88	16,666.05	158.194
5	78,728	276	15,978	671	1,159	3.2	17,827	109.15	17,234.98	158.665
6	85,953	344	15,675	763	1,082	3.1	9,815	105.49	15,575.92	156.704
7	85,208	348	17,210	712	1,240	3.0	P 19,382	103.90	16,569.27	157.572
8	82,242	279	P 15,540	726	1,260	3.1	P 20,008	101.27	16,887.40	156.636
前月比%	-3.5	-19.8	-0.6	2.0	1.6	0.1% 引	-	-2.5	1.9	-0.6
前年同月比%	2.5	2.9	-3.6	14.9	28.8	-0.3% 引	23.1	-17.8	-10.6	-7.6
資料出所	国土交通省	自販協連合会	経済産業省	東京商工リサーチ		総務省	財務省	日本銀行	日経新聞社	

※百貨店・スーパー販売額(2015.7大型小売店販売額を名称変更)の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

※企業倒産は負債額1千万円以上

※日経平均株価は年末、月末の終値ベース

# 青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		日銀券発行(-)還収 超額(億円)	県内金融機関		鉱工業 生産指数 (季調済) 2010年=100	公共工事請負額		企業倒産	
	(人)	社会動態(人) (転入-転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)		(百万円)	うち県分 (百万円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)
2011(H23)	1,371,440	-3,465	693	47,408	26,781	95.8	182,648	54,547	73	34,830
2012(H24)	1,361,053	-5,311	1,287	47,633	26,780	104.7	208,618	55,074	57	52,781
2013(H25)	1,347,650	-5,924	1,762	48,252	27,298	106.4	197,238	60,716	53	11,199
2014(H26)	1,333,729	-6,269	1,957	49,114	27,890	106.9	169,394	58,023	66	9,485
2015(H27)	1,319,297	-6,205	2,749	49,540	28,849	107.9	151,727	58,460	52	6,894
2015(H27) 6	1,309,993	-114	243	49,641	27,560	107.0	17,456	7,541	3	430
7	1,309,272	-100	168	48,939	27,665	108.5	21,592	7,718	3	162
8	1,308,552	-160	184	49,379	27,681	108.5	17,562	6,120	3	215
9	1,307,723	-101	210	49,258	28,098	108.7	17,298	8,906	4	453
10	1,308,649	-28	296	49,320	28,072	108.4	19,106	7,222	8	491
11	1,307,847	-74	240	49,204	28,069	106.5	7,657	2,385	4	106
12	1,307,015	-128	763	49,762	28,402	101.9	5,892	2,673	2	132
2016(H28) 1	1,306,105	-239	-186	49,309	28,253	103.8	4,867	1,928	5	356
2	1,304,978	-320	281	49,042	28,274	108.7	3,779	1,377	8	2,655
3	1,303,776	-5,274	271	49,540	28,849	109.5	6,905	3,692	4	1,369
4	1,297,762	502	298	49,937	28,291	118.4	37,048	12,688	3	1,773
5	1,297,549	-168	119	49,599	28,466	98.8	10,337	3,842	4	437
6	1,296,650	-162	332	50,133	28,545	107.6	21,814	8,455	5	1,592
7	1,295,847	-100	202	49,937	28,673	P 117.9	18,765	8,366	2	22
8	1,295,215	19	214	P 49,828	P 28,672		12,774	5,252	2	30
9	1,294,593		198						9	748
前月比 %	-0.0	-	-	-0.2	-0.0	9.6	-31.9	-37.2	350.0	2,393.3
前年同月比%	-1.0	-	-	0.9	3.6	5.8	-27.3	-14.2	125.0	65.1
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		県統計分析課	東日本建設業保証	東京商工リサーチ			

※人口の年は1月1日、月は各1日現在、社会動態は年・月中の計数

※日銀券の年次計数は年度累計

※実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高

※鉱工業生産指数の年次計数および前年同月比は原指数による

※公共工事請負額の年次の欄は年度計数

※企業倒産は負債額1千万円以上

年次及び月	新車 登録台数 (台)	乗用車登 録届出 台数(台)	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (千平米)	消費者 物価指数 2015年=100 (青森市)	勤労者世帯 家計消費 支出額 (青森市)(円)	毎月勤労統計調査	
			総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)				現金給与総額 (円)	総実労働時間 (時間)
2011(H23)	26,512	38,137	4,890	3,051	1,581	518	97.0	287,873	254,469	154.8
2012(H24)	33,496	49,397	5,578	3,286	1,844	582	96.2	274,133	253,142	155.0
2013(H25)	31,442	49,982	6,461	4,193	1,958	632	96.5	267,928	257,302	154.4
2014(H26)	31,736	52,046	5,469	3,387	1,721	575	99.8	259,815	254,237	155.1
2015(H27)	30,680	44,577	5,686	3,336	1,820	586	100.0	255,240	P 251,066	P 154.6
2015(H27) 6	2,556	3,735	523	353	138	57	100.1	211,436	334,174	160.5
7	3,034	4,056	608	368	180	64	100.2	237,365	263,587	160.7
8	1,958	2,767	459	296	133	49	100.1	267,869	229,076	150.1
9	2,913	4,244	693	392	249	71	100.2	224,094	214,820	155.1
10	2,486	3,283	502	301	135	53	100.0	264,004	215,638	157.1
11	2,301	3,240	466	270	144	45	99.7	262,354	224,348	156.0
12	2,049	2,746	541	235	251	47	99.5	284,982	405,190	154.5
2016(H28) 1	2,033	3,087	216	99	85	20	99.2	257,619	229,417	143.5
2	2,339	3,616	397	128	107	38	99.2	231,427	219,094	151.1
3	4,052	6,056	392	212	135	39	99.3	269,992	226,325	155.8
4	2,737	3,638	652	401	204	66	99.6	254,111	221,038	156.3
5	2,204	3,055	452	316	106	50	99.5	290,367	216,672	144.0
6	2,685	3,473	610	394	180	67	99.6	224,963	329,119	157.8
7	2,992	3,848	687	381	281	69	99.3	229,876	257,122	155.7
8	1,939	2,690	543	363	155	58	99.3	260,830		
前月比 %	-35.2	-30.1	-21.0	-4.7	-44.8	-15.4	0.0	13.5	-21.9	-1.4
前年同月比%	-1.0	-2.8	18.3	22.6	16.5	18.4	-0.8	-2.6	-2.4	-3.1
資料出所	自販協連合会青森県支部		県建築住宅課			県統計分析課	総務省	県統計分析課		

※毎月勤労統計調査は事業所規模5人以上を対象



## 青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	百貨店・スーパー 販売額 (百万円)	コンビニエンスストア 販売額 (百万円)	家電大型 専門店 販売額 (百万円)	ドラッグ ストア 販売額 (百万円)	ホームセ ンター 販売額 (百万円)	りんご			漁業 (八戸港水揚高)	
						出荷量 (トン)	市場価格 (円/Kg)	産地価格 (円/Kg)	数量 (トン)	金額 (百万円)
2011 (H23)	175,736	-	-	-	-	215,428	364	214	121,511	21,044
2012 (H24)	181,246	-	-	-	-	274,892	263	164	112,395	18,670
2013 (H25)	179,920	-	-	-	-	255,696	317	191	97,591	19,672
2014 (H26)	177,668	-	28,532	40,073	54,090	296,117	319	180	120,530	22,969
2015 (H27)	172,465	-	26,335	43,523	54,193	298,255	329	209	113,359	19,699
2015 (H27) 6	13,942	-	1,776	3,734	4,536	13,480	447	-	2,839	748
7	14,111	8,301	2,424	3,845	5,204	9,465	521	-	10,640	1,409
8	15,437	8,585	2,514	4,015	4,886	2,490	523	-	9,654	1,986
9	12,845	7,615	1,940	3,584	4,125	26,192	258	156	16,410	3,010
10	13,663	7,810	1,990	3,759	4,497	26,121	280	247	25,200	3,494
11	13,344	7,308	2,026	3,683	4,524	24,205	289	205	30,676	3,966
12	17,960	7,913	2,914	3,940	5,426	28,792	332	188	8,958	1,947
2016 (H28) 1	14,284	7,257	2,616	3,827	3,713	36,682	310	190	1,819	764
2	12,798	6,759	1,868	3,497	2,893	36,392	307	198	3,118	997
3	14,327	7,428	2,562	3,686	3,850	37,231	326	201	3,575	1,067
4	13,197	7,421	1,828	3,869	4,855	29,937	349	267	1,813	602
5	13,799	7,914	1,916	3,972	5,193	23,268	392	-	2,387	622
6	13,258	7,751	1,878	4,090	4,247	15,551	396	-	1,299	384
7	14,132	8,542	2,534	4,175	4,592	10,282	417	-	3,523	1,350
8	P 15,068	-	-	-	-	2,639	458	-	7,034	2,815
前月比 %	-	10.2	34.9	2.1	8.1	-74.3	9.8	-	99.7	108.5
前年同月比%	-3.5	2.9	4.5	8.6	-11.8	6.0	-12.4	-	-27.1	41.8
資料出所	東北経済産業局				県りんご果樹課			八戸市水産事務所		

※百貨店・スーパー販売額の前年同月比は既存店ベース増減率

※りんご年次欄はりんご年度の計数

年次及び月	有効求人 倍率(倍)	新規求人 倍率(倍)	雇用保険		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)		青森県景気 ウォッチャー調査 (現状判断 DI)	あおぎん BSI
			受給人員 (人)	受給金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)		
2011 (H23)	0.50	0.80	-	14,439	9,178	29,937	111,720	103,081	-	-
2012 (H24)	0.64	0.96	-	13,070	6,785	29,059	107,146	122,288	-	-
2013 (H25)	0.78	1.14	-	12,291	7,651	35,866	122,070	141,664	-	-
2014 (H26)	0.81	1.16	-	11,408	7,733	34,824	132,609	177,830	-	-
2015 (H27)	0.95	1.34	-	10,654	5,913	25,041	129,394	192,285	-	-
2015 (H27) 6	0.92	1.30	7,583	848	589	3,130	11,812	14,177	-	-
7	0.93	1.23	7,550	888	746	914	10,388	16,229	53.3	} 5.1
8	0.93	1.29	7,559	807	488	1,518	12,935	14,652	-	
9	0.94	1.30	7,020	814	400	1,117	8,953	31,322	-	
10	0.95	1.29	6,288	689	476	2,095	12,160	11,871	49.3	} 12.0
11	0.96	1.31	5,984	607	241	2,558	12,884	16,876	-	
12	0.97	1.35	6,654	716	326	2,551	4,391	14,637	-	
2016 (H28) 1	1.02	1.57	10,348	1,598	351	1,516	13,934	10,284	48.5	} 5.1
2	1.01	1.37	8,307	1,096	475	1,052	9,239	12,054	-	
3	1.03	1.36	6,673	873	374	1,787	10,032	8,588	-	
4	1.06	1.49	5,960	692	299	944	11,210	10,705	45.8	} -4.8
5	1.06	1.49	7,048	830	472	889	9,692	8,893	-	
6	1.07	1.47	6,729	826	354	1,002	11,929	9,743	-	
7	1.10	1.52	6,591	711	291	757	10,010	14,739	48.3	-
8	1.10	1.43	7,441	854	475	1,475	10,052	9,863	-	-
前月比 %	0.00ポイント	-0.09ポイント	12.9	20.1	63.2	94.8	0.4	-33.1	2.5* イント	-9.9* イント
前年同月比%	0.17ポイント	0.14ポイント	-1.6	5.7	-2.8	-2.8	-22.3	-32.7	-	-
資料出所	青森労働局			函館税関、青森支署・八戸支署			県統計分析課		青森銀行	

※雇用保険の年次の値は年度計数

青森県の主要経済指標・各種統計 3

☆県内主要都市・地区各種指標

年次及び月	観光施設入 込客数(人)	宿泊者数 (人)	青森空港乗 降客数 (定期便) (人)	パスポート 発行件数 (件)	三市の宿泊者数 (人)			地区 BSI		
					青森市 (12施設)	弘前市 (17施設)	八戸市 (19施設)	青森	津軽	県南
2011(H23)	10,484,558	1,184,887	815,565	16,435	301,871	329,493	446,488	-	-	-
2012(H24)	10,852,850	1,248,715	819,941	18,765	322,945	334,981	496,548	-	-	-
2013(H25)	10,459,071	1,616,712	848,951	14,968	402,275	483,615	505,059	-	-	-
2014(H26)	9,878,186	1,498,169	903,389	13,560	374,463	487,827	505,045	-	-	-
2015(H27)	9,987,004	1,528,847	981,175	13,301	373,968	517,836	499,830	-	-	-
2015(H27) 6	821,079	128,463	82,387	982	31,683	41,340	42,317	6.1	15.1	-2.5
7	933,629	134,768	85,873	1,075	35,139	45,442	38,478			
8	1,560,838	168,511	103,206	1,501	45,007	61,050	55,094			
9	1,022,417	146,598	96,801	1,036	35,898	48,991	47,031			
10	903,788	159,552	101,649	1,016	41,693	53,286	49,469	15.0	12.9	8.4
11	681,553	123,152	84,529	1,266	28,112	41,835	41,301			
12	528,779	110,862	69,759	1,045	24,593	35,453	40,135			
2016(H28) 1	468,359	102,158	69,081	1,319	25,684	31,678	35,026	1.3	14.8	1.3
2	471,690	107,184	71,039	1,056	26,148	37,109	34,564			
3	571,984	109,271	84,293	1,431	24,735	37,107	38,127	-3.4	-7.0	-4.8
4	812,847	119,087	80,070	1,050	27,512	47,277	35,340			
5	1,053,834	127,734	87,259	1,104	32,009	44,131	38,291			
6	902,370	134,567	90,257	1,172	34,781	47,229	39,886	-3.4	-7.0	-4.8
7	998,356	140,092	98,750	1,152	34,090	48,287	42,935			
8	1,471,190	171,831	112,073	2,023	44,735	63,837	48,865			
前月(期)比%	47.4	22.7	13.5	75.6	31.2	32.2	13.8	-4.7ポイント	-21.8ポイント	-6.1ポイント
前年同月(期)比%	-5.7	2.0	8.6	34.8	-0.6	4.6	-11.3	-	-	-
資料出所	県観光企画課		空港管理事務所	県統計分析課	県観光企画課			青森銀行		

※観光施設入込客数は県内34施設合計、宿泊者数は県内53施設合計

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2011(H23)	299,250	183,378	237,327	6,650	2,928	5,856	1,134	612	1,247
2012(H24)	297,618	182,487	236,434	8,346	3,917	7,221	1,260	868	1,440
2013(H25)	295,145	181,057	235,585	7,740	3,612	6,467	1,665	822	1,457
2014(H26)	292,769	179,582	233,951	7,669	3,704	6,564	1,445	761	1,197
2015(H27)	290,251	178,098	232,634	7,424	3,598	6,101	1,378	871	1,395
2015(H27) 7	288,408	176,721	231,472	862	314	689	155	72	158
8	288,275	176,726	231,385	446	233	436	125	77	110
9	288,029	176,590	231,337	702	333	605	219	78	165
10	287,622	177,549	231,379	609	260	507	107	74	96
11	287,450	177,503	231,304	516	276	509	78	56	122
12	287,269	177,447	231,208	483	260	431	110	108	117
2016(H28) 1	287,160	177,383	231,098	496	214	415	40	48	66
2	286,952	177,222	231,040	547	258	454	119	136	78
3	286,626	177,015	230,917	1,136	518	671	105	42	143
4	284,815	175,739	230,070	726	287	598	206	67	175
5	285,536	176,308	229,994	523	238	461	103	60	92
6	285,356	176,196	229,811	687	287	592	169	115	111
7	285,106	176,105	229,809	802	315	623	177	136	133
8	284,978	176,154	229,805	461	227	431	116	74	145
9	284,936	176,025	229,661						
前月(期)比%	-0.0	-0.0	-0.0	-42.5	-27.9	-30.8	-34.5	-45.6	9.0
前年同月(期)比%	-1.1	-0.3	-0.7	3.4	-2.6	-1.1	-7.2	-3.9	31.8
資料出所	県統計分析課			自販協連合会青森県支部			県建築住宅課		